

朝霞市総合振興計画「市民意識調査」、「青少年アンケート調査」結果をお知らせします！

～市民の8割超が「住み続けたい」、青少年の5割超が「大人になっても住みたい」と感じています～

市では、平成28年度から10年間のまちづくりの指針となる「第5次総合振興計画」の策定を進めています。計画策定に向け、昨年10月に「市民意識調査」と「青少年アンケート」を実施しました。この調査は、市民の生活実態や生活環境の評価、行政に対する評価や要望などを把握し、市の課題を的確に捉え、今後のまちづくりに反映させることを目的とするものです。

このたび調査結果がまとまりましたので、その概要をお知らせします。ご協力いただきました方に厚くお礼申し上げます。
問／政策企画室 ☎463-3089

「総合振興計画」とは？

総合振興計画とは、長期的な視野から市の将来ビジョンを描きながら、将来の行政需要やまちづくりの方向性などを総合的、体系的にまとめる計画であり、基本構想・基本計画・実施計画の3層構造からなっています。

現在、有識者や公募市民などからなる総合振興計画審議会において基本構想を検討しています。計画の策定にあたっては、市民懇談会や、今回の市民意識調査の実施など、市民の意見の反映に努めています。

また、上記の審議会は公開していますので、傍聴することができます。ぜひお越しください！

なお、この審議会や市民懇談会の内容や、市民意識調査結果の詳細は、市ホームページなどで見ることができます。

市民意識調査

調査方法／

- ①調査対象 市内居住の18歳以上の男女
- ②対象者数 3,000人
- ③抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- ④調査方法 郵送配布、郵送回収
- ⑤調査期間 平成25年10月15日送付、平成25年11月5日締切

回収結果／

- ①標本数 2,975票(宛先不明(25票)を含む総発送数は3,000票)
- ②有効回収数 943票 ③有効回収率 31.7%

調査項目／

- ①朝霞市の「住みよさ」、②日頃の地域との関わり
- ③周辺的生活環境、④市の全般的な取組
- ⑤これからのまちづくり、⑥まちづくりへの市民の参加
- ⑦市政、⑧自然災害(地震・風水害等)、⑨自由記述

青少年アンケート

調査方法／

- ①調査対象 市内居住の12歳～17歳の男女
- ②対象者数 1,000人
- ③抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- ④調査方法 郵送配布、郵送回収
- ⑤調査期間 平成25年10月15日送付、平成25年11月5日締切

回収結果／

- ①標本数 996票(宛先不明(4票)を含む総発送数は1,000票)
- ②有効回収数 364票 ③有効回収率 36.5%

調査項目／

- ①朝霞市について日頃感じていること
- ②これからの朝霞市のまちづくり
- ③地域との関わり
- ④自由記入意見

市への「定住意向」(市民意識調査)

市への定住意向は、「ずっと住み続けたい」(41.5%)、「当分は住み続けたい」(43.3%)を合わせた「住み続けたい」割合が84.8%となっています。一方、「出来れば市外に移りたい」(3.4%)、「すぐにでも市外に移りたい」(0.8%)を合わせた「市外に移りたい」割合は4.2%となっています。

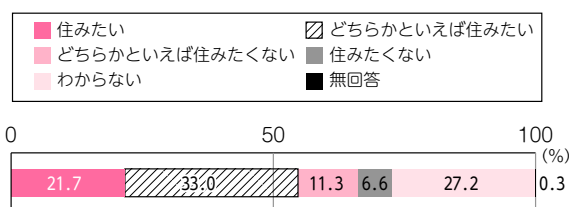
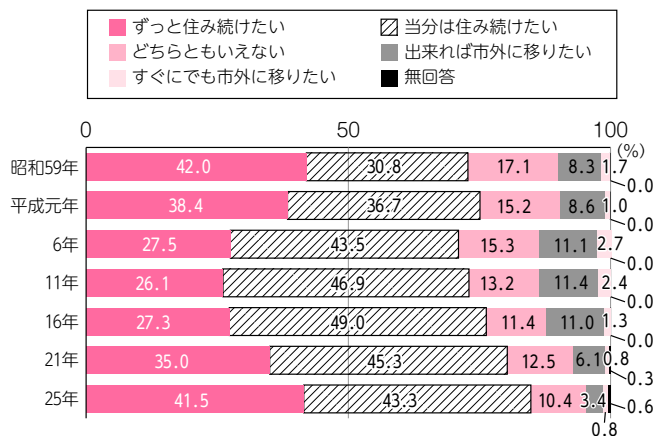
「ずっと住み続けたい」割合は平成11年以降、増加しており、「ずっと住み続けたい」と「当分は住み続けたい」を合わせた「住み続けたい」割合は平成6年以降増加しています。

一方、「出来れば市外に移りたい」と「すぐにでも市外に移りたい」を合わせた「市外に移りたい」割合は平成6年以降、減少しています。

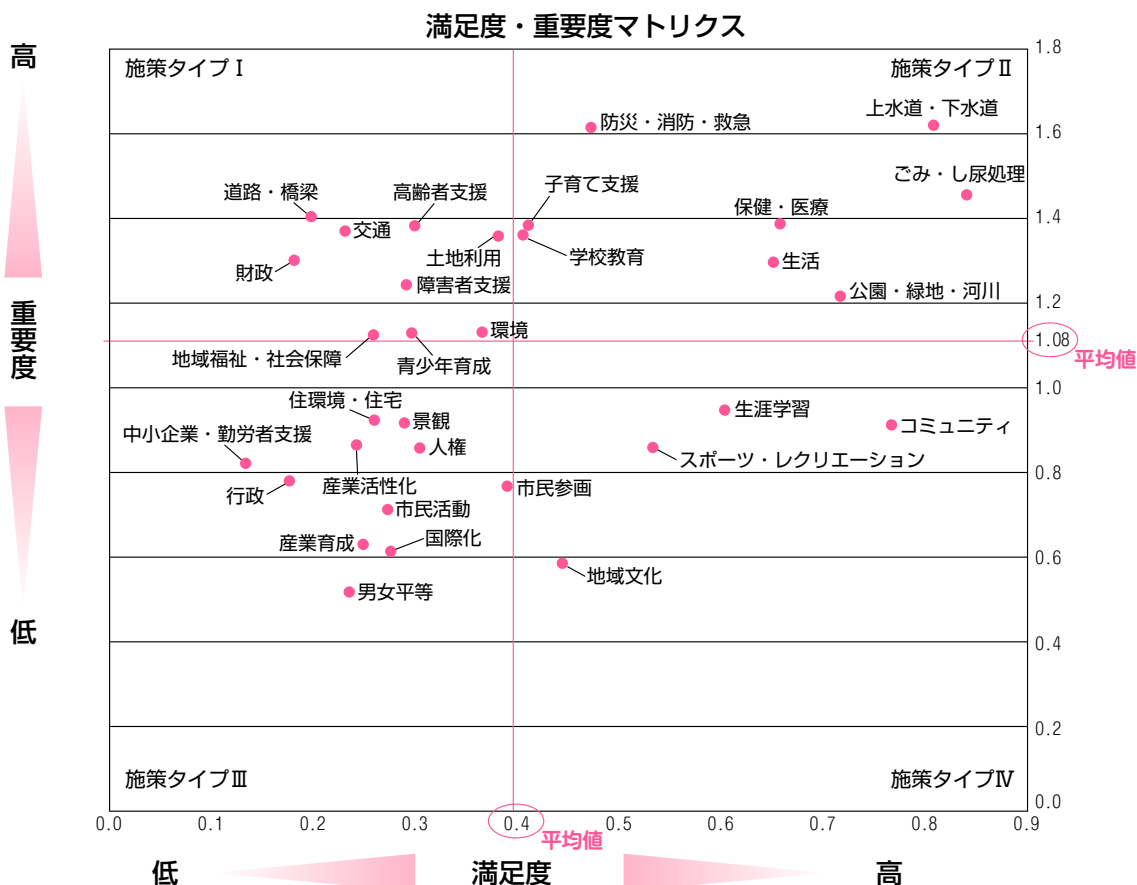
市への「定住意向」(青少年アンケート)

大人になっても市内に住みたいかどうかは、「住みたい」(21.7%)、「どちらかといえば住みたい」(33.0%)を合わせた「住みたい」割合が54.7%となっています。

一方、「どちらかといえば住みたくない」(11.3%)、「住みたくない」(6.6%)を合わせた「住みたくない」割合が17.9%となっています。



■ 市の全般的な取り組みにおける施策満足度・重要度（加重平均）（市民意識調査）



満足度と重要度の相関関係をマトリクス（散布図）で表しました。満足度・重要度ともすべてプラスの評価でした。

このマトリクスでは、縦軸は「重要度」、横軸は「満足度」を表しており、2本の補助軸は、それぞれ「重要度」の全項目（32項目）の平均値と、「満足度」の全項目（32項目）の平均値の位置を示しています。

なお、4つの区切りのタイプは、以下のとおりです。

施策タイプⅠ・・・「重要度」が平均値以上で、「満足度」は平均値以下のもの

施策タイプⅡ・・・「重要度」が平均値以上で、「満足度」も平均値以上のもの

施策タイプⅢ・・・「重要度」が平均値以下で、「満足度」も平均値以下のもの

施策タイプⅣ・・・「重要度」が平均値以下で、「満足度」は平均値以上のもの

～表の見方～

※「満足度」、「重要度」は、それぞれ2点を満点、－2点を最低点として計算しています。

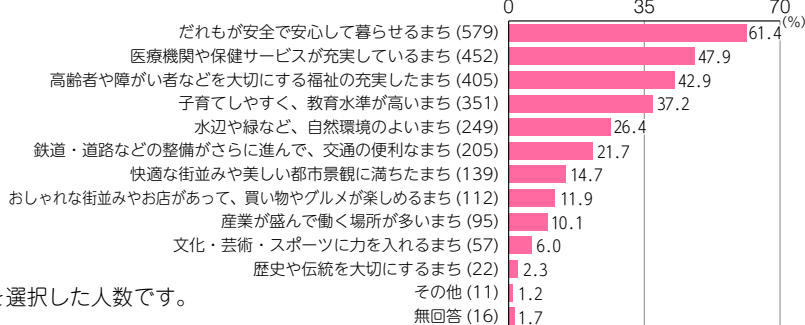
（例）図の右上「上水道・下水道」は、「満足度」0.807、「重要度」1.615となっているので、この位置になります。

※図中、「満足度」の0.40、重要度の1.08は、それぞれ平均値です。

■ 10、20年後の朝霞市（市民意識調査）

市民意識調査での10、20年後の朝霞市のイメージは、「だれもが安全で安心して暮らせるまち」の割合が61.4%で最も高く、続いて「医療機関や保健サービスが充実しているまち」（47.9%）、「高齢者や障がい者などを大切にする福祉の充実したまち」（42.9%）となっています。

※グラフの項目欄にある（ ）の数字は、その選択肢を選択した人数です。



■ 10、20年後の朝霞市（青少年アンケート）

青少年アンケートでの10、20年後の朝霞市のイメージは、「だれもが安全で安心して暮らせるまち」の割合が58.5%で最も高く、続いて「おしゃれな街並みやお店があって、買い物やグルメが楽しめるまち」（34.9%）、「水辺や緑など、自然環境のよいまち」（31.0%）となっています。

※グラフの項目欄にある（ ）の数字は、その選択肢を選択した人数です。

